



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6794 URL <http://www.foster.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 幸雄  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・法務部長 (氏名) 杉原 茂 (TEL) 042-546-2305  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	86,558	17.2	1,006	△83.6	1,242	△79.7	205	△94.3
23年3月期第3四半期	73,851	11.1	6,122	△20.8	6,109	△21.0	3,573	△24.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △1,315百万円( —%) 23年3月期第3四半期 1,355百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	8.81	—
23年3月期第3四半期	153.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	73,509	32,490	41.9	1,320.94
23年3月期	65,480	34,912	50.7	1,421.88

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 30,816百万円 23年3月期 33,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
24年3月期	—	15.00	—		
24年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	3.6	3,500	△54.1	3,500	△53.9	1,500	△67.7	64.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期3Q	23,506,015株	23年3月期	23,506,015株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	176,982株	23年3月期	176,982株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期3Q	23,329,033株	23年3月期3Q	23,329,193株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績の予想等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、今後様々な要因によって変動する可能性があります。なお、連結業績予想に関する定性的情報は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 継続企業の前提に関する注記	10
	(5) セグメント情報等	10
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）における世界経済は、欧州財政問題の深刻化に伴い先進国経済の下振れリスクが増大し、さらにこれまで好調な伸びを示していた中国を中心とする新興国経済の成長鈍化懸念が次第に強まる等、先行きに対する不安感が高まりました。

わが国経済は、東日本大震災後による落ち込みから復旧・復興需要にも支えられ持ち直しておりましたが、ここに来て海外経済の減速や歴史的円高水準等により足踏み状態となってきました。

当社グループの属する電子機器および電子部品業界におきましては、東日本大震災により寸断されたサプライチェーンは想定以上の速度で復旧が進みましたが、夏場の電力不足、タイの洪水、さらに円高や原材料の高騰等、取巻く環境は厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループでは積極的な営業活動による受注確保と資材費削減等の原価改善活動に取り組むとともに、旺盛なヘッドホン・ヘッドセットの需要に応えるために生産体制の増強を進めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、ヘッドホン・ヘッドセットの需要が顧客拡大も伴い引き続き好調に推移し、86,558百万円（前年同期比17.2%増）となりました。しかしながら原価面では、暴騰しておりましたレアアース・マグネットの原材料価格は、一時期よりは価格が落ち着きを見せているものの依然として高水準な状態が続いております。これに対処するため当社グループでは様々な対応策・改善策に取り組みその効果も見られておりますが、当初の計画に対して価格転嫁等が遅れていること、加えて急増する需要への対応に伴い製造経費が上昇したこと等により、連結営業利益は、1,006百万円（前年同期比83.6%減）、連結経常利益は1,242百万円（前年同期比79.7%減）、連結四半期純利益は205百万円（前年同期比94.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [音響部品・製品事業]

薄型テレビ用スピーカ・スピーカシステムは数量、価格ともに厳しい状況が続きましたが、モバイル機器用ドックスピーカシステムやアフターマーケット向けヘッドホン等の出荷は好調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は20,884百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

#### [自動車用部品・製品事業]

自動車生産および販売台数は、東日本大震災に加えタイの洪水により特に国内メーカーが減産を余儀なくされた影響を受けましたが、その他の地域では比較的好調に推移し、車載用スピーカ・スピーカシステム等の出荷は増加いたしました。

その結果、当事業の売上高は21,330百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

#### [情報、通信機器用部品・製品事業]

携帯電話用ヘッドセット等の生産、出荷は取引先の拡大も伴い堅調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は43,191百万円（前年同期比32.8%増）となりました。

#### [その他]

「フォステクス」ブランドの製品等の売上高は1,152百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は主に売掛金や有形固定資産の増加により前連結会計年度末に比べ8,029百万円増加して73,509百万円となりました。負債は主に短期借入金増加により前連結会計年度末に比べ10,452百万円増加して41,019百万円となりました。純資産は、配当金の支払、為替換算調整勘定の減少等により前連結会計年度末に比べ2,422百万円減少して32,490百万円となりました。また自己資本比率は前連結会計年度末比8.8ポイント減の41.9%となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより7,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ250百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の支出は、法人税等の支払等により2,320百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、設備投資等により 5,722 百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、短期借入金等の増加等により 8,613 百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、世界経済は、引き続き先行き不透明な状況で推移するものと予想されますが、当社グループにおきましては、積極的な受注・販売活動を展開すると同時に、生産性向上や資材費削減等の原価改善活動に取り組んでまいります。

通期業績予想につきましては、平成 23 年 11 月 2 日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

#### 【追加情報】

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

当第 1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 24 号 平成 21 年 12 月 4 日)を適用しております。

(在外子会社における大韓民国採択国際会計基準の適用)

当第 1 四半期連結会計期間より、連結子会社である ESTec コーポレーションの連結財務諸表につき、大韓民国において 2011 年 1 月 1 日以後開始する事業年度より大韓民国株式市場での公開企業に対し大韓民国採択国際会計基準が強制適用されることから、当該会計基準を適用した ESTec コーポレーションの連結財務諸表を基礎として、当社グループの連結財務諸表を作成しております。当該会計基準は遡及して適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

遡及適用を行う前と比較し、前第 3 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益並びに 1 株当たり純資産額及び 1 株当たり四半期(当期)純利益に与える影響は軽微であります。なお、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前連結会計年度の期首残高は 164 百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,989	8,380
受取手形及び売掛金	19,247	22,352
製品	9,906	9,330
原材料	5,182	7,259
仕掛品	989	1,224
貯蔵品	402	269
短期貸付金	63	62
未収入金	892	1,968
前渡金	272	695
繰延税金資産	1,050	766
その他	1,195	909
貸倒引当金	△833	△624
流動資産合計	46,358	52,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,441	4,432
機械装置及び運搬具（純額）	5,808	6,780
工具、器具及び備品（純額）	1,696	1,838
土地	1,018	895
建設仮勘定	2,053	2,392
有形固定資産合計	14,018	16,339
無形固定資産		
のれん	299	225
ソフトウェア	552	395
借地権	542	637
その他	89	101
無形固定資産合計	1,483	1,360
投資その他の資産		
投資有価証券	2,199	1,628
長期貸付金	113	66
長期前払費用	921	1,094
繰延税金資産	123	138
その他	270	297
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,619	3,216
固定資産合計	19,121	20,915
資産合計	65,480	73,509

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,404	11,047
短期借入金	14,595	22,142
1年内返済予定の長期借入金	73	68
未払金	2,576	2,611
未払法人税等	2,133	68
未払費用	973	1,091
繰延税金負債	781	778
賞与引当金	553	460
その他	365	542
流動負債合計	29,458	38,812
固定負債		
長期借入金	251	1,358
繰延税金負債	510	431
退職給付引当金	158	205
役員退職慰労引当金	61	57
その他	126	154
固定負債合計	1,109	2,207
負債合計	30,567	41,019
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,770	3,770
資本剰余金	6,372	6,372
利益剰余金	30,924	30,133
自己株式	△133	△133
株主資本合計	40,934	40,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52	△94
為替換算調整勘定	△7,816	△9,232
その他の包括利益累計額合計	△7,763	△9,326
少数株主持分	1,741	1,673
純資産合計	34,912	32,490
負債純資産合計	65,480	73,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	73,851	86,558
売上原価	59,804	77,550
売上総利益	14,047	9,008
販売費及び一般管理費	7,924	8,001
営業利益	6,122	1,006
営業外収益		
受取利息	40	47
受取配当金	36	39
為替差益	—	118
雑収入	214	230
営業外収益合計	291	436
営業外費用		
支払利息	90	156
為替差損	158	—
雑損失	54	44
営業外費用合計	304	200
経常利益	6,109	1,242
特別利益		
貸倒引当金戻入額	129	—
国庫補助金	20	67
特別利益合計	149	67
特別損失		
有形固定資産除却損	73	35
投資有価証券売却損	—	151
投資有価証券評価損	41	137
ゴルフ会員権評価損	—	11
特別損失合計	114	335
税金等調整前四半期純利益	6,144	975
法人税、住民税及び事業税	1,347	358
法人税等調整額	578	228
法人税等合計	1,925	586
少数株主損益調整前四半期純利益	4,218	388
少数株主利益	645	182
四半期純利益	3,573	205



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,218	388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	△147
為替換算調整勘定	△2,804	△1,556
その他の包括利益合計	△2,863	△1,703
四半期包括利益	1,355	△1,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	914	△1,357
少数株主に係る四半期包括利益	441	42

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,144	975
減価償却費	1,791	2,350
のれん償却額	70	72
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△42	△49
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	32	65
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△108	△151
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△171	△87
有形固定資産除却損	66	35
投資有価証券評価損益 (△は益)	41	137
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	151
受取利息及び受取配当金	△81	△87
支払利息	90	156
為替差損益 (△は益)	△571	△460
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,879	△3,529
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,694	△2,411
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,846	4,322
未収入金の増減額 (△は増加)	△62	△1,179
未払金の増減額 (△は減少)	751	157
前渡金の増減額 (△は増加)	—	△440
その他	△170	138
小計	△945	168
利息及び配当金の受取額	79	87
利息の支払額	△90	△156
法人税等の支払額	△754	△2,420
法人税等の還付額	491	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,220	△2,320
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△200	△0
投資有価証券の売却による収入	—	48
有形固定資産の取得による支出	△4,618	△5,132
有形固定資産の売却による収入	23	131
無形固定資産の取得による支出	△322	△196
定期預金の増減額 (△は増加)	△461	△195
短期貸付金の増減額 (△は増加)	56	45
長期貸付けによる支出	△16	△19
長期貸付金の回収による収入	13	11
長期前払費用の取得による支出	△324	△391
その他	27	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,822	△5,722

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,635	8,607
長期借入れによる収入	191	1,237
長期借入金の返済による支出	△1,041	△105
配当金の支払額	△1,353	△1,003
少数株主への配当金の支払額	△77	△122
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,353	8,613
現金及び現金同等物に係る換算差額	219	△319
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,470	250
現金及び現金同等物の期首残高	9,908	7,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,438	7,858

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	音響 部品・製品事業	自動車用 部品・製品事業	情報、通信機器用 部品・製品事業	その他事業			
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	20,766	19,655	32,522	906	73,851	-	73,851
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	20,766	19,655	32,522	906	73,851	-	73,851
セグメント利益	1,949	1,336	2,771	135	6,192	△70	6,122

(注) 1 セグメントの調整額△70百万円は、のれん償却額であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	音響 部品・製品事業	自動車用 部品・製品事業	情報、通信機器用 部品・製品事業	その他事業			
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	20,884	21,330	43,191	1,152	86,558	-	86,558
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	20,884	21,330	43,191	1,152	86,558	-	86,558
セグメント利益	△301	△401	1,654	126	1,078	△72	1,006

(注) 1 セグメントの調整額△72百万円は、のれん償却額であります。  
2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

・各セグメントに属する主要製品・サービス

セグメント	主要製品・サービス
音響部品・製品事業	オーディオ用及びテレビ用スピーカ並びにスピーカシステム、アンプ内蔵スピーカ、ヘッドホン等
自動車用部品・製品事業	車載用スピーカ及びスピーカシステム等
情報、通信機器用部品・製品事業	携帯電話用ヘッドセット及び小型スピーカ、業務用マイクロホン等
その他事業	「フォステクス」ブランドの製品、物流サービス等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)  
該当事項はありません。